

# 時事通信ビル

機械式駐車設備 ● 納入事例 「国際的情報発信基地」

## 銀座の街並みに調和する スタイリッシュな最先端のITビル

国際都市・東京の政治・経済・文化の動きに、世界がリンクする現代にあつて、マスコミュニケーションの働

きはますます重要性を増しています。昨年七月、東京銀座五丁目に、日本を代表する通信社・時事通信社の新社屋が完成しました。地下鉄日比谷線東

銀座駅から新橋演舞場に向かう銀中通りと、みゆき通りが交差する一角は、銀座東急ホテルの跡地。敷地面積は三千百五十八平方メートル、建物の規模はS一部CFT（鉄筋コンクリート）造り

地下二階、地上十四階建てで、床面積は延べ二万八千二百平方メートルとなります。一見して大理石のように見える外壁は、不思議な透明感を持っており、周囲の緑と調和した仕上がりです。これは、ガラスと打ち放しプレキャストコンクリート板を使用することによって新しく工夫されたものです。

建築施工にあつたの大きな特徴としては、敷地に残されていた旧銀

座東急ホテルの地下躯体の一部のなかに、新しいビルを建て込む工事があげられます。耐圧盤を基礎の一部に利用し、三方の外周部を山留めにするために残しました。この工法によって、解体量を地下躯体の三十四％に抑えることに成功。再生コンクリートや解体ガラの使用などと合わせて、環境に配慮したりサイクル工事として注目を集めました。

ニユース発生の瞬間を肌で感じるために、編集フロアは開放的にデザインされており、人の動線となるエレベーターホールや化粧室などのスペースはガラス張りに。すみずみまで明るいオフィスが実現しました。

広い四角形のオフィスを支えるため、ケージ構造形式を採用し、室内の柱は四本のみ。通信社の編集局らしい、フレキシブルな広い空間が出来上がりました。

銀座の賑わいがデスクまで届く、光と

風の吹き抜ける快適なオフィスは、国内外に張り巡らされた取材網の基地として、伝統ある「迅速・正確・簡潔」な報道の新たな現場となることでしょう。



乗込口の閉口時

乗込口の閉口時



CSパーキングの内部構造

## 省スペースで大量駐車が可能 平面往復方式「CSパーキング」

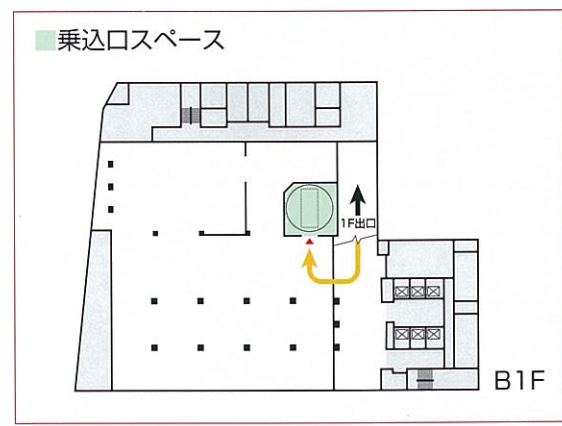
東京とニューヨーク、ロンドンに編集センターを持ち、二十四時間情報を発信する通信社では、人と車の出入りが途絶えることはありません。時間を争う取材活動をサポートするために、駐車設備もまた、使いやすく円滑な入出庫が求められます。

平面往復方式の「CSパーキング」は、独自技術の準備運転機構により、入出庫時間の大幅な短縮を実現し、高性能な本社ビルのフットワークをスピードアップ。

また、旧ホテルの既存の地下躯体と

三方の外周部を残すという、駐車設備設計上の制約があつた今回のケースでは、サイドリフト方式を採用。このことで、車の乗り込み口をフレキシブルにレイアウトすることが可能となり、設計の自由度が広がりました。

最新の建築技術の粋を集めたインテリジェントビルだからこそ、パーキングシステムもまた、高い信頼性と実績のある日精のテクノロジーがその役割を担うことになりました。



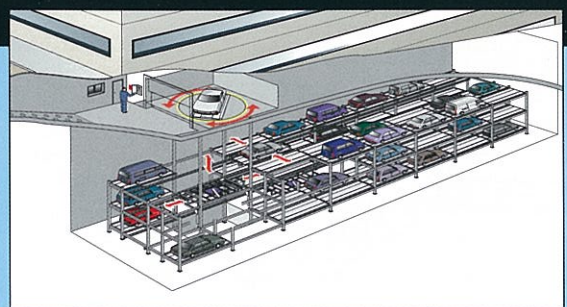
建築概要・建築規模	
建築主	(株)時事通信社
構造規模	地下2階/地上14階建/塔屋1階
建築面積	2,914.25㎡
延床面積	28,220.87㎡
設計・監理	鹿島建設(株)
施工	鹿島・東急建設共同企業体

駐車設備概要	
駐車設備	ニッセイ・CSパーキング
機種	平面往復方式
型式	CS・LSR3・4・4AS-39T
収容台数	合計39台



## 平面往復方式 CSパーキング

地下空間を有効に活用できる省スペース型で、大量駐車ニーズに応えられるのが日精のCSパーキングです。さらに、駆動装置をボディに集約したコンパクト設計と、「準備運転」というオリジナル技術の採用により、1基あたり最大80台収容、平均取り出し時間70秒を実現しました。そのうえ工期短縮と、現行機種との部品共通化によりリーズナブルな価格を実現しました。また、リフトを2カ所に設けて、入出庫をさらに効率化した「2リフト方式」もあります。



「準備運転」機構の採用により入出庫時間を大幅に短縮したCSパーキング。オフィスビル、マンション、公共複合施設など入出庫頻度の高い施設の機械式駐車設備として最適。